

開講科目名 / Course	病理学各論	
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期、3 学期 / Second, Third	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	定金 香里	
担当教員名 / Instructor	定金 香里	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	10	
科目の目的と概要	病理学各論では、循環器系、呼吸器系、消化器系といった同じような働きを持つ臓器のグループ別に病態や代表的な疾患名を学ぶ。総論で学んだ病気の原因、それに対するからだの反応、病状の経過の一般的な原理や規則の知識を、この各論で病態や疾患と結びつけて理解することを目的とする。ここで修得した内容は、病気診断の一部をなしており、看護実践を行う上で非常に重要である。	
到達目標	1. 系統別に起こる病気が総論で学んだカテゴリーのいずれに属するか判断できる。 2. 系統別に起こる病気の成り立ちや形態学的変化、特徴を説明できる。 3. 得られた知識を看護のアセスメントに役立てることができる。	
DPとの対応	2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能	
授業計画	01. 循環器系の疾患 02. 血液・造血器系の疾患 03. 呼吸器系の疾患（1）：上気道の疾患と縦隔の疾患 04. 呼吸器系の疾患（2）：下気道の疾患 05. 消化器系の疾患（1）：口腔、食道、胃、膵臓の疾患 06. 消化器系の疾患（2）：腸・腹膜、肝臓・胆管・胆嚢の疾患 07. 腎・泌尿器、生殖器系および乳腺の疾患 08. 内分泌系の疾患 09. 脳・神経・筋肉系の疾患 10. 骨・関節系の疾患、眼・耳・皮膚の疾患	
その他の授業の工夫	反転授業を行う。事前に「講義」映像を視聴し予習を行い、講義の時間では、その内容に基づくクイズと解説を実施する。予習中に生じた疑問はメールで教員に送れば、講義時間内で回答する。「講義」映像は、オンデマンドで繰り返し視聴可能であり、復習教材としても活用できる。予習に必要な資料は、事前に配布する。	
時間外学修	事前学修：「講義」の映像をオンデマンドで受講すること（必須）。反転授業であるため、事前に、予習を行わなければ、講義時間内での復習作業が不可能となる（20h）。	
評価方法と評価割合	本講義の成績は筆記試験（100％）により評価する。ただし、評価の要件として、全講義の2/3以上の出席が必要である。この要件を満たさない場合、評価の対象外とする。	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[1]（医学書院）	
参考書	病気がみえる vol. 1～9, 11～14（メディックメディア） 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[2]（医学書院） カラーで学べる病理学（ヌーヴェルヒロカワ）	
履修する上で必要な要件	「講義」映像をオンラインで視聴できる環境	
その他		
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		